

Noto PLUS

1



広報のと 第227号

令和6年1月1日発行

発行：能登町 編集：総務課
〒927-1049
石川県鳳珠郡能登町宇出津下字50番地1

TEL: 0768-92-1000
Eメール: info@town.noto.lg.jp

宇出津港 のと寒ぶり

のとうり

歴史と文化のトビラ

その五拾七

■能登町の俳諧

俳諧(発句・俳句)は、五・七・五(十七音)で表現された短詩です。中世にその芽生えが見られ、江戸時代には松尾芭蕉らの詩作が有名です。

北陸3県でも古い俳書である延宝8年(1680年)の『白根草』に、宇出津の三宅初吟・大乘寺月昌、松波の吉章が句を寄せており、町内の人々による詩作が江戸時代初期にはおこなわれていました。



小木日和山公園内にある井田寒涯句碑

井田 寒涯

延享3年(1746年)に生まれ、天領(幕府領)と加賀藩領に分れた村内のうち、天領庄屋を勤めた家柄であった。通称を一蔵または七左衛門といい、鬢泉・秋佳子・冥々庵等の号がある。文化7年(1810年)10月26日、68歳で真脇において没し、新善光寺に「寒涯翁の墓」と刻まれた墓碑があったという。本堂に、井田家の位牌が安置されており、その中に寒涯のものが残されている。

令和6年1月10日⑧～3月24日⑨

町立美術館 小企画展示

真脇 井田寒涯 句集『旅ぶくろ』完成二五周年記念
「能登町の俳諧 江戸時代の俳人たちとその句」

本各地を行脚し、文人らと交流した人物です。寒涯の句には、平易な言葉で即興の句が多くあります。著作に『寒涯発句集』、『旅ぶくろ』があり、後者は文化5年(1808年)に成り、寒涯の150句を春夏秋冬に分けて掲載しています。

正月やばや二日目の春の雨

町教育委員会事務局
☎(62) 8537

宇出津港

のと寒ぶりまつり

日時 1月14日(日) 10時～15時

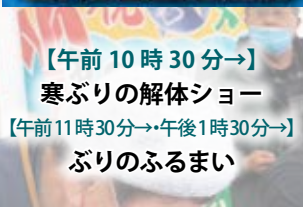
会場 役場庁舎横駐車場

(オープニングイベント 9時20分)



【午前9時20分→】
オープニングイベント

出演 弥栄太鼓
能登高校生「書道パフォーマンス」



【午前10時30分→】
寒ぶりの解体ショー
【午前11時30分→午後1時30分→】
ぶりのふるまい



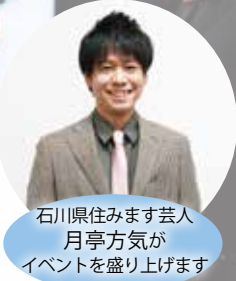
【午前10時→午後3時】
グルメ Tent 村

ブリ大根、ぶりしゃぶ、ぶりの照り焼きなどぶり料理がいっぱい!

お越しの際は専用駐車場からのシャトルバスをご利用ください

駐車場 宇出津新港・いやさか広場前
能登消防署宇出津分署

寒ぶりまつり実行委員会(能登町商工会内) ☎62-0181



石川県住みます芸人 月亭方気が イベントを盛り上げます

※寒ぶりが不漁の場合は 中止になる事があります。



「広報のと」1月号の印刷費は一部当たり 43.3円です。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています。
E3PA: 環境保護印刷推進協議会